

信用事業業務検定試験問題

第55回 農業融資財務分析基礎

2024年10月5日 実施

ご注意 (試験開始前によく読んでください)

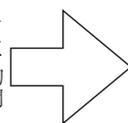
1. 答案を作成する前に、この冊子の裏表紙に印刷してある「**答案作成上のご注意**」をよく読んでください。
2. 解答用紙に記載されている**受験番号・氏名**が正しいかどうかを確認してください。誤りがある場合は監督者に申し出てください。
3. 試験問題は、監督者の合図があってから開封してください。
4. 試験問題は、連動する通信教育講座の内容に沿って作成しています。
5. 試験問題に関しては、印刷不明瞭な点以外の質問は受け付けません。
6. 不正な行為があったときは、解答はすべて無効になります。
7. 退席の際には、解答用紙は必ず監督者に直接手渡してください。
8. そのほか、監督者の指示に従ってください。

※ 本検定試験の優秀成績者については県域あて通知文書等において所属団体・氏名等を公表することとしておりますが、**ご同意いただけない方は下欄に記入の上、試験終了後、本紙をミシン目に沿って切り取り監督者にご提出ください。**

私は、優秀賞（最優秀賞含む）を受賞しても所属団体・氏名等の公表に同意いたしません。

都道府県名				所属団体名										
受験番号										氏名				
			-							-				

ここを切開く



農業融資財務分析基礎

連動する通信教育講座の内容や各種規定(統一版等)に基づき解答してください。

[問1] 経営体の種類に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 法人とは、法的に人格を持った経営体をいい、その法人の名義で商売を行う。
 - b. 農業法人は定款で決めた事業年度を計算期間として、その期間における利益をもとに法人税等を計算し、期末から3か月以内に申告・納税をしなければならない。
 - c. 農地所有適格法人とは、さまざまな要件を満たし、農地を譲渡することができる農業法人のことである。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問2] 決算書の種類と青色申告に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 農業所得用の所得税青色申告決算書の損益計算書と貸借対照表の間には、A(収入金額の内訳)からL(本年中における特殊事情)があるが、これらの情報は、損益計算書と貸借対照表を読み解く上で重要な役割を果たしている。
 - b. 実際に帳簿を作っていない場合でも、事前に申請をしていれば青色申告が取り消されることはない。
 - c. 青色申告とは、収入や経費に関する日々の取引の状況を記帳し、その記帳からきちんと儲けや税金を計算して申告することをいう。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問3] 以下のa～dの取引が生じた際、仕訳において借方に計上するものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 資産の増加
 - b. 負債の増加
 - c. 費用の発生
 - d. 収益の発生
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問4] 収入金額に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 農地を貸したことによる収入は、不動産所得になる。
(2) 受取共済金、出荷奨励金、価格差補填金は雑収入として計上するが、事業分量配当金は配当所得に該当するので、雑収入としては計上しない。
(3) 農産物の家事消費、事業消費はいずれも収入金額に含める。

[問5] 棚卸しに関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 農産物の場合、期首棚卸高については、その販売価格を収入にプラスする。
(2) 農産物の期末棚卸高は、当年12月31日時点で未販売の農産物の販売価格を記載する。
(3) 1個3,000円の商品を100個仕入れて、そのうち90個が合計360,000円で売れた場合の利益は、60,000円である。

[問6] 取得価額360,000円、取得時期・今年7月25日、耐用年数7年、償却方法・定額法で個人事業主が取得した耕うん機について、1年目の未償却残高と2年目の未償却残高の正しい組合せを1つ選びなさい(耐用年数7年の定額法償却率は0.143)。なお、減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合、切上げ処理を行うこと。

- (1) 1年目 338,550円 2年目 287,070円
(2) 1年目 334,260円 2年目 286,460円
(3) 1年目 334,260円 2年目 282,780円

[問7] 個人事業主が令和5年8月10日にトラクター(法定耐用年数7年)を1,500,000円で購入した場合の令和6年中の減価償却費として正しいものを1つ選びなさい。なお、年の途中での除却・売却・休止はないものとし、償却方法は定率法、耐用年数7年の償却率は0.286とする。また、減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合、切上げ処理を行うこと。

- (1) 377,878円
- (2) 388,102円
- (3) 429,000円

[問8] 減価償却に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 割増(特別)償却費とは、特例により、一定の資産について、1年目の減価償却費を多めに計上することができる場合の、その特例による償却費のことである。
- b. 改定償却率は、定率法の場合に使う率である。
- c. 取得価額が30万円未満の固定資産は、年間の合計額が300万円までであれば、その全額を、その年の経費にすることができるが、これは青色申告の事業者にだけ認められた特例である。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問9] 個人事業主が令和6年中にビニールハウスの補修に対して、1,000,000円を支払った。うち650,000円は明らかに修繕費に該当する金額であり、残りの350,000円は修繕費か資本的支出かが明らかでない。なお、その350,000円は2年に1度の周期で行う備品の取り換え費用である。この場合の修繕費の金額として正しいものを、次の(1)～(3)の中から選びなさい。

- (1) 1,000,000円
- (2) 750,000円
- (3) 650,000円

[問 10] 人件費に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 青色事業専従者の要件の1つに、「その年を通じて6月を超える期間、その事業に専ら従事していること」がある。
- b. 専従者給与を経費にするためには、事業者本人が青色申告を選択していなければならない。
- c. 専従者給与を経費にするためには、給料の金額が、労務の対価として相当であると認められる金額でなければならない。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 11] その他の経費に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 債務保証料や当座借越利息は、利子割引料として経費になる。
- b. 事業主の家族を対象とする共済の掛金は、「農業共済掛金」として経費となる。
- c. 自宅の住宅ローンの利息は、利子割引料として経費になる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 12] 青色申告承認申請書を受理された個人事業主が令和6年3月に、以下の①～④を経て初めて確定申告を行った。この場合、個人事業主の青色申告特別控除額の限度額はいくらになるか。(1)～(3)の中から正しいものを1つ選びなさい。

- ① 複式簿記の方法により帳簿を作成しているが、電子帳簿保存は行っていない。
- ② 確定申告の時期になり準備を始め、損益計算書と貸借対照表を作成した。
- ③ 自宅から電子申告(e-Tax)で送信しようとしたが、エラーのため送信できなかった。
- ④ やむなく書面の損益計算書と貸借対照表を、期限内に税務署に提出して受理された。

- (1) 10万円
- (2) 55万円
- (3) 65万円

[問 13] 現金・預金に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 現金預金対借入金比率は、現金・預金と借入金・未払金のバランスを確認するものである。
 - b. 期首の現金預金対借入金比率が120%、期末の現金預金対借入金比率が95%の場合、財務状態は悪化していると考えられる。
 - c. 貸借対照表の資産の部に記載する預金には、プライベートな預金も含まれる。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 14] 固定資産に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 借地権は、無形固定資産、かつ非減価償却資産である。
 - b. 果樹、牛馬は有形固定資産である。
 - c. 固定資産の種類ごとに、年末までの減価償却費を控除した未償却残高を貸借対照表に記載することで、経費になった固定資産がどれだけあるかを表す。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 15] 源泉徴収の納期の特例に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 源泉徴収の納期の特例の利用にあたっては、事前に税務署に申請する必要がある。
 - b. 常に従業員が20人未満である場合は、毎月ではなくまとめて年2回の納付で済ませることができる。
 - c. 源泉徴収の納期の特例では、7月から12月までに源泉徴収した金額は、翌年1月20日までに納付する必要がある。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 16] 次の事業主勘定を使った a～c の仕訳のうち、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 個人用の普通預金 50,000 円を、事業用の現金補給のために引き出した。
(借方)事業主貸 50,000 円 (貸方)普通預金 50,000 円
- b. 事業用の現金 20,000 円を、プライベートな飲食に使った。
(借方)事業主貸 20,000 円 (貸方)現金 20,000 円
- c. 個人用と事業用(負担割合 5 : 5)の電話料金合計 30,000 円が、事業用の普通預金から引き落とされた。
(借方)事業主貸 15,000 円 (貸方)普通預金 30,000 円
(借方)通信費 15,000 円

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

[問 17] 所得区分に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 公的年金は、給与所得になる。
- b. 災害により、農産物の収益を補填するために得た保険金は農業所得になる。
- c. 農業法人において勤務し、受け取った給与は農業所得になる。

- (1) 1 つ
- (2) 2 つ
- (3) 3 つ

個人農家の下記資料を基に，[問 18] ～[問 22] に答えなさい。

損益計算書 (単位：円)

収入金額	販売金額	8,500,000
	農産物の期首棚卸高	310,000
	農産物の期末棚卸高	280,000
	小 計	(①)
必要経費	租税公課	120,000
	種苗費	230,000
	肥料費	300,000
	農具費	110,000
	農薬・衛生費	280,000
	減価償却費	160,000
	利子割引料	19,000
	雑 費	241,000
	小 計	1,460,000
差引金額	(?)	
貸倒引当金 繰戻額	(②)	
専従者給与	2,855,000	
貸倒引当金 繰入額	71,500	
青色申告特別控除額	550,000	
所得金額	3,594,000	

貸借対照表 (単位：円)

科 目	資 産		負債・資本		
	1月1日	12月31日	科 目	1月1日	12月31日
現 金	320,000	270,000	借入金	987,000	772,000
普通預金	1,320,000	1,550,000			
売掛金	1,100,000	1,300,000	貸倒引当金	60,500	71,500
農産物	(③)	(?)			
農機具等	830,000	940,000	事業主借		0
			元入金	2,832,500	2,832,500
事業主貸		3,480,000	(?)		(④)
合 計	3,880,000	7,820,000	合 計	3,880,000	(?)

[問 18] ①に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 7,910,000
- (2) 8,470,000
- (3) 8,530,000

[問 19] ②に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 60,500
- (2) 71,500
- (3) 132,000

[問 20] ③に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 30,000
- (2) 280,000
- (3) 310,000

[問 21] ④に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 3,631,000
- (2) 4,144,000
- (3) 4,335,000

[問 22] この個人農家の決算書の分析として、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 専従者給与として2,855,000円が計上されているので、事業主本人と生計が別である親族(その事業に専ら従事している)への給与は2,855,000円である。
 - b. 事業主貸として3,480,000円が計上されているので、この金額が家計から事業に移っているといえる。
 - c. 貸借対照表に建物の記載がないので、この事業主の自宅は借家だとわかる。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

農業法人の下記資料を基に，[問 23]～[問 29] に答えなさい。

貸借対照表
(令和 6 年 3 月 31 日時点) (単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	【 3,570,000 】	【流動負債】	【 1,890,000 】
現金預金	1,870,000	買掛金	770,000
(①)	1,200,000	未払金	630,000
農産物等	320,000	預り金	210,000
仕掛品	246,000	未払法人税等	280,000
貸倒引当金	△ 66,000		
【固定資産】	【 12,430,000 】	【固定負債】	【 1,660,000 】
(有形固定資産)	(12,430,000)	(②)	1,660,000
建 物	2,800,000		
農機具	700,000	負債の部 合計	3,550,000
果樹・牛馬等	480,000		
育成仮勘定	850,000	純資産の部	
土 地	7,600,000	【資本金】	【 4,500,000 】
		【利益剰余金】	【 7,950,000 】
		繰越利益	7,950,000
		純資産の部 合計	12,450,000
資産の部 合計	16,000,000	負債・純資産 合計	16,000,000

損益計算書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：円)

【売上高】		12,100,000
【売上原価】		
期首農産物棚卸高	320,000	
当期農業原価	<u>6,560,000</u>	
合計	6,880,000	
期末農産物棚卸高	<u>370,000</u>	<u>6,510,000</u>
売上総利益		5,590,000
【販売費及び(③)】		<u>3,480,000</u>
営業利益		2,110,000
【営業外収益】		
貸倒引当金戻入	66,000	
雑収入	<u>48,000</u>	114,000
【営業外費用】		
支払利息	<u>72,000</u>	<u>72,000</u>
経常利益		2,152,000
税引前当期純利益		2,152,000
法人税, 住民税及び(④)		<u>752,000</u>
当期純利益		<u>1,400,000</u>

株主資本等変動計算書

(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：円)

	資本金	資本準備金	利益剰余金		純資産合計
			利益準備金	繰越利益	
当期首残高	4,500,000	0	0	(⑤)	(?)
当期変動額					
剰余金の配当					
当期純利益				1,400,000	1,400,000
当期変動額合計	0	0	0	1,400,000	1,400,000
当期末残高	4,500,000	0	0	(?)	12,450,000

[問 23] ①②に当てはまる語句として、正しい組合せを1つ選びなさい。

- (1) ①長期借入金 ②売掛金
- (2) ①売掛金 ②短期借入金
- (3) ①売掛金 ②長期借入金

[問 24] ③に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 人件費
- (2) 減価償却費
- (3) 一般管理費

[問 25] ④に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 消費税
- (2) 事業所税
- (3) 事業税

[問 26] ⑤に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 6,550,000
- (2) 7,950,000
- (3) 12,450,000

[問 27] 売上総利益率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 46.2%
- (2) 81.3%
- (3) 216.5%

[問 28] 固定長期適合率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 77.7%
- (2) 88.1%
- (3) 350.1%

[問 29] 法人の決算書に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 事業報告や事業報告に係る附属明細書は、一般的に決算書の中に含まれる。
- b. 決算書を作成することや、その決算書を株主から承認を受けることは、会社法で決められている。
- c. 決算書の作成ルールは、会社計算規則で定められている。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 30] 利益準備金について述べた以下の文章の [A]～[C] に当てはまる語句として、正しい組合せはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

利益準備金とは、会社法によって義務付けられた利益の積立てであり、法人が株主に配当を行う場合、配当金の [A] の金額を、[B] とあわせて、資本金の [C] の金額になるまで、利益準備金に積立てをしなければならないルールになっている。

- (1) A : 5分の1 B : 資本剰余金 C : 4分の1
- (2) A : 10分の1 B : 資本準備金 C : 2分の1
- (3) A : 10分の1 B : 資本準備金 C : 4分の1

[問 31] 資金繰りでよく出てくる言葉である「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 発生主義での仕入は、購入方法にかかわらず、その時点で費用として認識される。
- b. 信用経済が中心となり決済方法が掛けになったことから、損益と収支にズレが生じた。
- c. 現金主義であっても「勘定合って銭足らず」の状態になる場合がある。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 32] 「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、営業の過程で資金が不足するものを、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、各記述はそれぞれ独立したものであり、この記述のほか取引はないものとする。また、令和6年5月20日取引開始前の現預金残高は25万円である。

- (1) 令和6年5月20日に商品21万円を掛けて仕入れ(決済日同年6月28日)、この商品を同年7月10日に27万円で掛け売りした(決済日同年8月30日)。
- (2) 令和6年5月20日に商品27万円を掛けて仕入れ(決済日同年6月28日)、この商品を同年6月20日に32万円で現金販売した。
- (3) 令和6年5月20日に商品28万円を掛けて仕入れ(決済日同年6月28日)、この商品を同年6月20日に34万円で掛け売りした(決済日同年7月31日)。

[問 33] 損益計算と収支計算に関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 商品を掛けて仕入れ、この商品を現金で販売した場合、「損益計算上の利益<収支計算上の収支」となる。
 - b. 期末に未販売農産物が50,000円(販売価格)発生していた場合、収支計算上50,000円のマイナスとなる。
 - c. 前期から繰り越された未販売農産物が35,000円(販売価格)、当期末に25,000円(販売価格)の未販売農産物が発生している。このとき前期の未販売農産物を含めた当期の実際の売上が300,000円だった場合の当期利益は、310,000円となる。なお、売上原価については考慮しなくてよい。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 34] 次の①～⑤の取引を行った結果、現預金の月末残高として正しいものはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい(現預金の月初残高300,000円とする)。

- ① 商品を100,000円で仕入れ、代金は現金で支払った。
 - ② 商品を150,000円で売り上げ、代金は掛けとした。
 - ③ 以前受け取っていた受取手形170,000円が決済され、普通預金に入金された。
 - ④ 以前振り出していた支払手形130,000円が決済され、当座預金から引き落とされた。
 - ⑤ 月次決算において、減価償却費40,000円を計上した。
- (1) 200,000円
 - (2) 240,000円
 - (3) 390,000円

[問 35] 仕入と売上原価に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、本問に記載のない事項は一切考慮しなくてよい。

- a. 仕入単価が同じ場合、前年から繰り越された商品が売れても、利益率は変わらない。
- b. 期首の在庫(すべて当期に販売)の金額よりも、期末の在庫の金額が小さい場合は資金が増加する。
- c. 期首棚卸高 20,000 円、当期仕入高 25,000 円、期末棚卸高 18,000 円、原価値入率(※)は期を通して 20% で一定であった場合、資金は 4,800 円増加する。なお、本問は農産物以外の取引であり、売上および仕入はすべて現金で決済されるものとする。

(※)原価値入率 = (売上高 - 売上原価) ÷ 売上原価 とする。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 36] 在庫に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 仕入れた商品が売れ残った場合、(仕入 - 売上原価)に相当する在庫が増えることになる。
- b. 在庫の不良化や陳腐化の発生は実質的な回収が見込めなくなり、資金繰りに大きな影響を及ぼすことになる。
- c. 仕入、売上ともすべて現金取引とした場合、在庫が発生しなければ、損益計算の利益と収支計算の収支が一致する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 37] 経費に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 減価償却資産を買った時点では経費ではなく資産として計上するが、その後において、あらためて、お金の支出を伴わない経費(減価償却費)として計上される。
 - b. 種苗費、種付料、素畜費、肥料、農薬などのうち育成中の果樹や牛馬に関するものがある場合は、それらは経費として計上する。
 - c. 年末に機械の修繕をして発生した経費の支払いが翌年になる場合、この経費の計上は経費支出に先行する。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 38] 黒字倒産について述べた以下の文章の [A]～[C] に当てはまる語句として、正しい組合せはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

黒字倒産とは、損益計算上は [A] にもかかわらず、収支計算上は [B] となり、経営が追い込まれついには倒産してしまうことをいう。このことから [C] をおろそかにすれば、経営は簡単に破たんしてしまうといえる。

- (1) A：赤字 B：黒字 C：資金繰り
(2) A：黒字 B：赤字 C：利益追求
(3) A：黒字 B：赤字 C：資金繰り

[問 39] 次の①～④の取引で利益と収支が一致するのは、②の取引から何か月後か、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 商品 40,000 円を掛けで仕入れた。
 - ② ①の商品を1か月後に 55,000 円で掛け売りした。
 - ③ ①の買掛金は、仕入れてから 1.5 か月後に 2 か月サイトの手形で支払った。
 - ④ ②の売掛金は、売り上げてから 2 か月後に 2 か月サイトの手形で回収した。
- (1) 3か月後
(2) 4か月後
(3) 5か月後

[問 40] 資金繰りに関する次の記述について、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 資金繰りとは、その内容により「目先のお金の確実なやりくり」と「将来を見通した、計画的な、資金の運用と調達」に分けることができる。
- b. 余剰資金は、できるだけ有利に運用することが望ましい。
- c. ある時点でお金の「出」が「入り」を上回ると予想された場合、「出」を早めたり「入り」を遅らせることにより「入り」を「出」より上回らせることができる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 41] 資金繰りを考えるうえで考慮される現預金増減の法則に関する次の記述について、現預金の増加として捉えるものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 元入金が増加した。
- b. 売掛金が減少した。
- c. 減価償却費が増加した。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 42] 個人事業主の貸借対照表に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 自己資本は、貸借対照表の元入金のことを意味している。
- (2) 他人資本は、事業主以外の第三者から調達した現預金を意味している。
- (3) 負債の減少は、現預金の増加を意味している。

[問 43] 個人事業主の貸借対照表に関する次の計算式について、A～Cに入る語句の正しい組合せを1つ選びなさい。

$$\text{翌年の元入金} = \text{当年の元入金} + \boxed{\text{A}} - \boxed{\text{B}} + \boxed{\text{C}}$$

- (1) A 当年の所得金額(青色申告特別控除前) B 当年の事業主貸
C 当年の事業主借
- (2) A 当年の所得金額(青色申告特別控除後) B 当年の事業主貸
C 当年の事業主借
- (3) A 当年の所得金額(青色申告特別控除前) B 当年の事業主借
C 当年の事業主貸

[問 44] 資金貸借対照表において、次のうち、流動資金の調達に該当する勘定科目はいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 短期借入金
 - b. 長期借入金
 - c. 貸倒引当金
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 45] 固定資金、流動資金の運用と調達について、資金繰りの観点で望ましいと考えられる関係を(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、不等号(「<」「>」)は、貸借対照表の残高の多寡を表している。

- (1) 固定資金の運用 < 固定資金の調達
(2) 固定資金の運用 > 固定資金の調達
(3) 流動資金の運用 < 流動資金の調達

[問 46] 設備資金の調達と計画に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 設備資金に充てる固定資金の不足解消のために不要な固定資産を売却し、その売却資金を充当するのは資金不足解消の手立てとなりうる。
 - b. 留保利益と減価償却費の範囲内での設備投資であれば、少なくとも、固定資金が不足することはない。
 - c. 「固定資産の購入金額 > 元入金」である限り、固定資金が不足することはない。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 47] 運転資金に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 流動資産は流動資金の調達を表し、流動負債は流動資金の運用を表している。
(2) 営業運転資金とは、そのビジネスの営業に直接関係のある資金の調達金額が、その運用金額よりも大きい場合、その余剰資金をいう。
(3) 運転資金は「流動資産(売上債権+棚卸資産)－流動負債(仕入債務)」で表すことができる。

[問 48] 営業運転資金に関する下記の図に関する説明について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

売掛金 1,250,000 円	買掛金 650,000 円
	棚卸資産 400,000 円

- a. 売掛金・棚卸資産の合計と、買掛金との差額は営業運転資金の不足分であるから、何らかの方法で調達しなければならない。
- b. 売掛金 1,250,000 円のうち、1,000,000 円分が手形で回収されれば、営業運転資金の不足は解消する。
- c. 売掛金 1,250,000 円のうち、900,000 円分を現金販売できていれば、営業運転資金が不足することはなかった。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 49] 流動資金の運用と調達に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 融資先の財務状況や過去の融資取引での実績があるなど、一定の信用がないと当座貸越には応じてもらえない場合がある。
- (2) 金融機関サイドからみると、短期借入金は、期日が到来して更新をするたびに、取引先の資金状態を知ることができるというメリットがある。
- (3) 手形の割引とは、手元にある手形を期日前に金融機関に持ち込み、一定の割引料を受領して金融機関に買い取ってもらうことである。

[問 50] 財務指標での管理に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 経営管理の面からみると、債権管理や在庫管理はとても重要である。
 - b. 在庫管理の面からみると、常時必要な原材料は、いつでも豊富に手元に置いておくのが望ましい。
 - c. 一定の目標基準を設け、金利意識を持つことが財務指標の活用につながる。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

答案作成上のご注意

① 所持品

受験票・鉛筆(HB)・消しゴム・電卓1台(ただし、金融計算・関数・メモ機能付を除く)

② 解答用紙の記入方法

- (1) 受験票の受験番号・氏名が解答用紙の受験番号・氏名と一致していることを確認のうえ、解答用紙の氏名欄にカタカナ名を記入してください。
- (2) コンピューターの印字がない白地の解答用紙を使用する場合は、受験票記載の受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入してください。
- (3) 解答用紙を折りまげたり、破ったりしないでください。また、解答用紙が著しくよごれたときは、監督者に申し出て新しい(白地の)解答用紙と取りかえてください。その際は、受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入のうえ、受験番号も忘れずにマークしてください。

③ マークの記入方法

この試験は、マーク・シート方式です。

- (1) 正しいマーク例 ● はみださないよう鉛筆で塗りつぶしてください。
- (2) 誤ったマーク例 ① ② ⊗ ⊙ 0
- (3) 訂正方法
消しゴムで跡が残らないようきれいに消してください。
消し方が不完全な場合には二重解答となり採点されません。

④ 本試験の正解は2024年10月10日(木)を目途に次のインターネットサイトに掲示いたします。 <https://www.nc-academy-answer.net/>

アクセスする際は、上記URLを直接入力するか、右記二次元バーコードを読み取りして、ダイレクトにアクセスしてください。



(株)農林中金アカデミーのトップページからアクセスすると、アクセス集中によって長時間待たされる、あるいは操作が停止することになりますので控えてください。



株式会社 農林中金アカデミー

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-11 アグリスクエア新宿9階
TEL 03-6457-8806 (代表)